

令和元年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
 II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
 III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
 IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
 V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

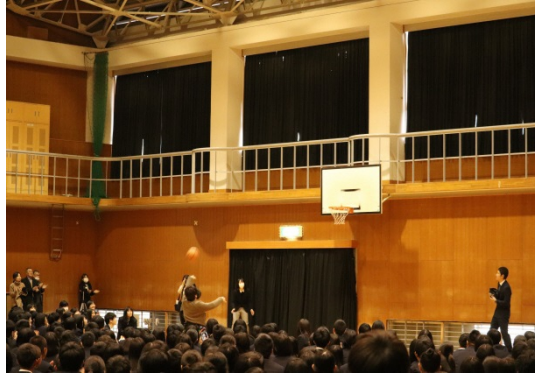
道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 京都府立亀岡高等学校 】

| | |
|---------------|--|
| 1 実践テーマ | 【 I・III・V 】 |
| 2 実施対象者 | 全校生徒 787名 |
| 3 展開の形式 | (1) 学校における活動 ① 教科名 () ② 行事名 (特別活動 オリンピック・パラリンピック講演会) ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 () |
| 4 目標 (ねらい) | (1) パラリンピックの歴史やパラリンピアンの方の生き方を学ぶことで東京オリンピック・パラリンピックへの関心を高める。 (2) パラリンピアンの方の経験談を聞くことを通して、努力や挑戦することの大切さを理解させるとともに、人との関わり方を大切にしようとする態度を育てる。 |
| 5 取組内容 | (1) 事前学習「障害とはなにか～スポーツ&芸術の世界から～」を発行 (2) パラリンピアンの方による講演 ・ 講師：公益財団法人日本パラリンピック委員会 根木慎志氏 ・ 内容：パラリンピックの歴史、ご自身の経験や考え方、現在の活動、東京オリンピック・パラリンピック開催に向けての活動、車いすバスケットボールの実演 (3) 事後学習 振り返り・感想文 |
| 6 主な成果 | 講師の前向きな考え方や心に響くメッセージに多く触れ、多くの生徒が新たな気づきを得ることができた。以下、感想文に書かれていた内容を踏まえて成果をまとめる。 ○ パラリンピックの歴史や現状を聞いたり、車いすバスケットボールの実演を生で見たりすることで、東京オリンピック・パラリンピックへの興味関心を高めることができた。 ○ 失ったことに悲観するのではなく、与えられた環境を最大限に |

活かそうとする講師のポジティブな考え方や自分の可能性を信じて努力や挑戦をし続けている姿に共感した生徒が多くおり、今後の生き方を考える機会となった。

- 他者との支え合いが人生を充実させるということがわかり、人との関わり方や言葉のかけ方を見直すきっかけになった。



7 実践において工夫した点 (事業の特色)

- 事前学習で障害スポーツについて考える機会を設けることで、講演を聞く際の心構えや関心を高めた。
- 講演当日は映像・講話・実技と様々な角度からパラリンピアン の生き方・考え方に触れることができるような内容で実施して いただいた。

8 主な課題等

- 人数や場所、設備の関係で実現できなかったが、実際に生徒にも車いすに乗らせてスポーツを体験させるようなことができれば、より興味を引くことができた。
- もう少し学習の時間数を確保し、教科等に組み込みながら活動 をすることができれば、より学習効果を高めることができる。

9 来年度以降の 実施予定

次年度も実施予定